



熊本学園大学大学院
会計専門職研究科
アカウンティング専攻
Graduate School of Accountancy
2026



KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

熊本学園大学

大学院事務室

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1

TEL.096-371-8036(直) FAX.096-364-5170

<https://www.kumagaku.ac.jp/daigakuin/>

E-mail: daigakuin@kumagaku.ac.jp

【学校法人 熊本学園】

熊本学園大学・大学院／熊本学園大学付属高等学校／

熊本学園大学付属中学校／熊本学園大学付属敬愛幼稚園



大学基準協会

2022年度に財団法人大学基準協会による大学
評価(認証評価)を申請し、「大学基準に適合して
いる」との認定を受けました。



熊本学園大学大学院会計専門職研究科は、
会計大学院評価機構が定める評価基準に適合
しているとして、2024年3月「認定会計大学院」
の称号を授与されました。

公認会計士、税理士を 目指すあなたへ。



MESSAGE

会計専門職研究科長
成宮 哲也 教授
Tetsuya Narumiya

本学は、熊本商科大学から熊本学園大学に改組し、発展してきました。その間に、経済界をはじめとして各界で活躍する多くの卒業生を輩出しています。公認会計士、税理士などの会計プロフェッションとして活躍する卒業生も多数います。これは、これまで本学が社会のニーズに応えてきた証左です。このような伝統を踏まえ、熊本学園大学大学院会計専門職研究科は、2009(平成21)年4月に開設された、岡山県以西で唯一の会計専門職大学院です。

本研究科は、単に資格取得を目的とするだけでなく、専門職大学院の教育プログラムを通じて、高度な財務会計、管理会計、公会計、監査、租税法、さらにIT関連の分野など幅広い知識を学び、国内における問題だけでなく国際的な問題に対応できる高潔な倫理観をもった人材を養成することを目指しています。さらに本研究科では、平日だけではなく、土曜日、日曜日に開講するウィークエンドコースを設けているという特徴があります。ウィークエンドコースを設けることによって、働きながら会計専門職大学院で学びたい方に、その機会を提供することを可能にしています。

本研究科は、開設から17年目を迎え、既に400名を超える修了生がいます。公認会計士、税理士として活躍している修了生は多数いますが、企業等において活躍している修了生も少なくありません。さらに、研究者となつて、大学で研究している修了生もいます。このように修了後のキャリアは多彩です。在学中にしっかり学び、研究活動を充実させることで、新たな可能性を見いだすこともできます。

ところで、本学は、地理的には九州の中心に位置し、岡山県以西で唯一の会計専門職大学院であることから、入学者は九州を中心に多岐にわたります。また、入学者の年齢、性別、学習経験等も千差万別です。このように多様なバックボーンをもった学友との繋がりは、大学院での学修や研究にとって非常に良い刺激になることはもちろん、将来会計プロフェッションとして働くうえでも、大きな財産になることでしょう。

会計専門職大学院に入学することは、具体的な職業やキャリアに的を絞った「人生の選択」を行うことでもあります。熊本学園大学大学院会計専門職研究科では、会計・税務の専門家になる、という決断をされた方々が満足できる教育プログラムを用意し、強力なスタッフ陣をそろえて、入学される皆さんの目標が実現されるよう、最大限の支援を行います。



CONTENTS

- | | | |
|-------------------------|--------------|--------------------|
| 01 研究科長挨拶 | 11 カリキュラム | 18 修了後の進路 |
| 03 研究科概要 | 12 開設科目一覧 | 19 奨学制度/支援制度 |
| 04 研究科の特色 | 13 特集2 在学生の声 | 20 納入金 |
| 05 資格試験に短期合格するためのロードマップ | 15 教員紹介 | 21 ホームページ/キャンパスマップ |
| 07 働きながら学ぶあなたへ | 16 修学概要 | 22 アクセスマップ/交通アクセス |
| 09 特集1 座談会 | 17 入試概要 | |



九州で唯一の、 会計専門職大学院

研究科概要 outline of research course

会計専門職研究科では、高度で専門的な知識・能力を備えた会計・税務に特化した高度専門職業人を養成します。

高度専門職業人としてコアとなる専門知識とスキルを修得し、論理的で職業倫理に基づく判断力を備えたうえで、公認会計士や税理士及び企業や非営利組織、自治体における会計業務や監査業務及び税務において指導的な役割を發揮できる人材の養成を教育の目標とします。

名 称	会計専門職研究科アカウンティング専攻		
英語名称	Graduate School of Accountancy Major in Professional Accountancy		
課 程	専門職学位課程	学生定員	入学定員30名 収容定員60名
学位名称	会計修士(専門職) Master of Professional Accountancy	修業年限	2年 (長期履修制度あり)

● 教育理念・目的

会計専門職研究科は、21世紀に相応しい高度な専門性と幅広い視野、そして社会的責任感と倫理観を備えた会計専門職業人の養成を目的とします。

- 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)
- 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

ディプロマ・ポリシー(DP)、及びカリキュラム・ポリシー(CP)は、本学大学院ホームページに掲載しています。

※詳細はP21の二次元バーコードを確認！

● 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学会計専門職研究科専門職学位課程においては、入学前に簿記・会計に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有し、次の会計専門職業人を目指す方を受け入れます。

- 1.公認会計士 2.税理士
- 3.企業・地方自治体などの組織における会計専門家

なお、入学者選抜については、簿記・会計に関する基礎的知識(学部卒業程度)を有しているかを確認するために筆記試験や書類審査を行い、上記1から3に関する興味・関心等を確認するために面接試験を実施します。



研究科の特色 feature

特色 1

公認会計士を目指す

九州における 公認会計士養成の拠点として

公認会計士試験の受験者は都市部に集中する傾向があり、これまで九州地区は受験環境が十分に整っているとは言えない状況にありました。自宅から遠く離れた都市部の大学へ進学し、難関の公認会計士試験に備えるのは、精神的にも経済的にも大きな負担となります。

このような公認会計士試験における地域格差を解消し、公認会計士に対する地域社会のニーズに応えるために開設されたのが、本学会計専門職研究科(アカウンティングスクール)です。岡山県以西に会計専門職大学院が設置されていないなか、地域社会における公認会計士養成の拠点大学として、都市部の会計専門職大学院に負けないカリキュラムと充実したスタッフで、地方にありながら公認会計士試験にチャレンジする方を支援します。

※1 所定の単位を修得し修了した方は、公認会計士試験短答式試験のうち3科目(財務会計論・管理会計論・監査論)が免除されます。
※2 「会計専門職基礎」の単位を修得し修了した方は、実務補習の単位が減免されます。

特色 2

税理士を目指す

地域社会に貢献できる 高度な税理士を養成

高度な専門知識で社会に貢献できる仕事に就きたい人にとって、税理士は最適な職業のひとつと言えるでしょう。税理士試験は難関ですが、科目合格制をとっており、働きながら資格取得を目指す方にとっても勉強がしやすくなっています。

これからの税理士は、税務書類の作成や税務相談といった従来の業務に加え、会計業務やコンサルタント業務に対応できる応用力が求められます。とりわけ地方の税理士には、税務だけでなく経営に関する幅広い相談がクライアントから寄せられます。それらのニーズに十分に対応するためにも、会計・税務に関する体系的な理解とそれを応用する能力が重要となります。

本学会計専門職研究科では、税理士に求められる幅広いニーズに対応できるよう、1年次に会計・税務に関する基本的知識を身につけ、2年次の演習・論文指導で応用力を養成します。

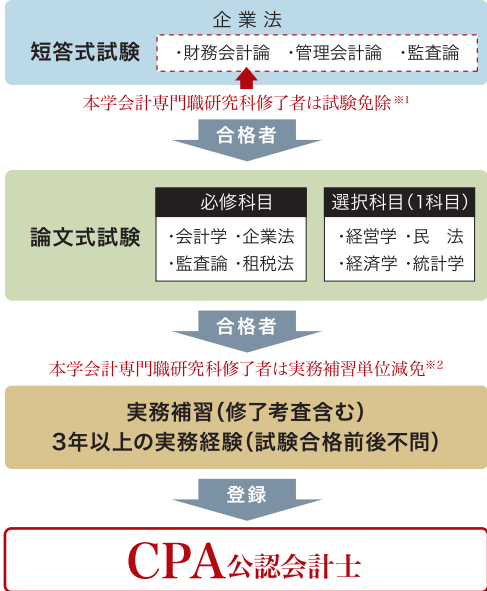
特色 3

会計の スペシャリストを 目指す

高度な会計知識を身につけ 企業や非営利組織で活躍する

会計に関する知識は、複雑化する経済社会において必要不可欠なものです。企業の活動は言うに及ばず、病院や学校など、非営利の組織においても、適正な会計処理は欠かせません。本学会計専門職研究科では、会計・監査・税務等に関する高度な専門知識を身につけ、企業や非営利組織で活躍する人材を育成します。

公認会計士までの道のり



税理士試験のしくみ

税理士試験の科目は、会計科目2科目、税法科目9科目の全11科目があり、そのうち5科目に合格する必要があります。試験科目のうち会計科目の「簿記論」と「財務諸表論」は必修科目、税法科目のうち「所得税法」と「法人税法」は選択必修科目です。ほかは選択科目となっているので、得意なものを選択することができます。1度合格した科目は生涯有効です。

税理士試験科目

会計科目	〈必修科目〉 ・簿記論・財務諸表論	2科目必修
税法科目	〈選択必修科目〉 ・所得税法・法人税法	どちらか1科目を選択 ※2科目選択でも可
	〈選択科目〉 ・相続税法・酒税法・消費税法 ・国税徴収法・住民税・事業税 ・固定資産税	

理論と実務を交えた教育体制

本学会計専門職研究科では、研究者教員による「理論」と実務家教員による「最先端の実務」の両方を学ぶことで、高度な専門知識を持った会計専門職業人を育成します。

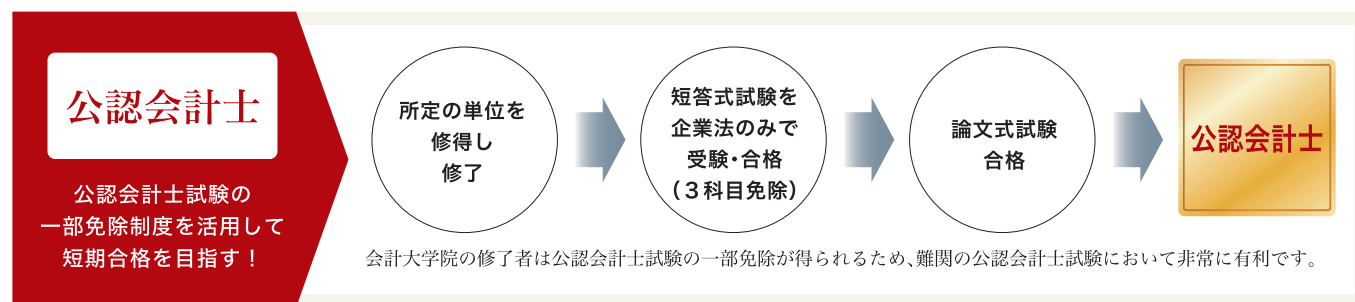
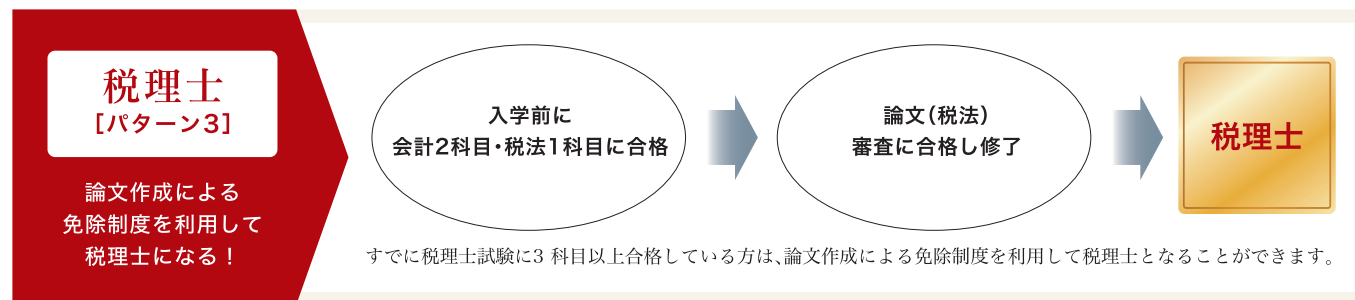
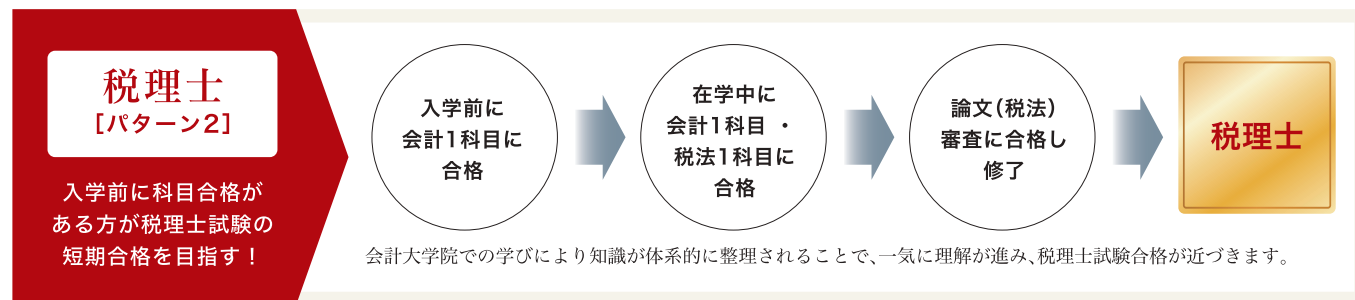
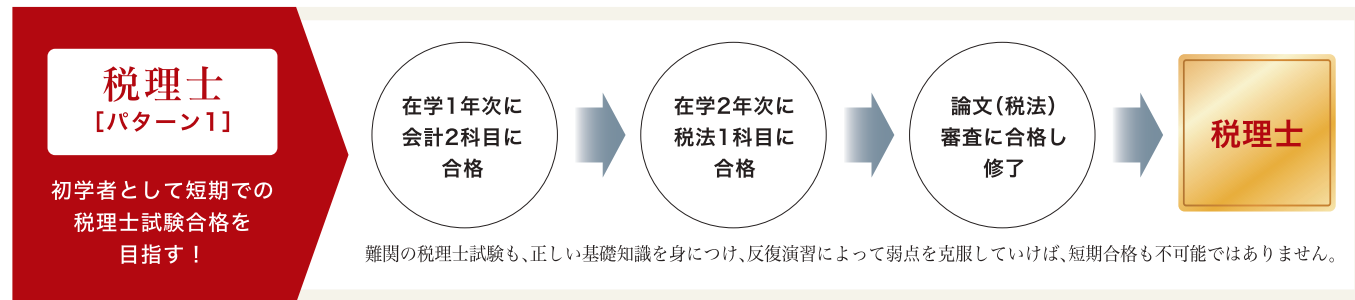
幅広い学びをサポート

会計・監査・税務に関する科目はもちろん、経済・経営・ITなどの関連科目も開設しています。また、科目履修生制度も導入しています。

資格試験に短期合格するためのロードマップ

難関の税理士試験や公認会計士試験ですが、正しい戦略のもとで計画的に学修すれば、短期間で合格も決して不可能ではありません。

会計専門職大学院での2年間でうまく活用し、短期間で合格するためのロードマップを紹介します。



資格試験の免除制度

会計専門職大学院における資格試験の免除制度を概説！

公認会計士試験の一部免除

会計大学院において所定の要件を満たし、かつ、会計修士(専門職)の学位を取得することで、公認会計士試験の一部(短答式試験における財務会計論、管理会計論、監査論)が免除されます。

■単位についての要件

財務会計に属する科目 10単位以上
管理会計に属する科目 6単位以上
監査に属する科目 6単位以上

合計28単位以上を修得する必要があります。

税理士試験の一部免除

「学位取得による試験科目の免除制度」と呼ばれているもので、大学院において学位(修士学位等)を授与された研究が「税法に属する科目等」である場合は税法2科目について、「会計学に属する科目等」である場合は会計1科目について、税理士試験の免除を国税審議会(国税審)に申請することができます。国税審の審査に合格し、認定されることで税理士試験の一部が免除となります。

〈学位取得による税理士試験科目免除までの流れ〉

必要な単位を修得し、学位論文審査に合格した学位取得者は、税理士試験の科目免除の申請をすることができます。

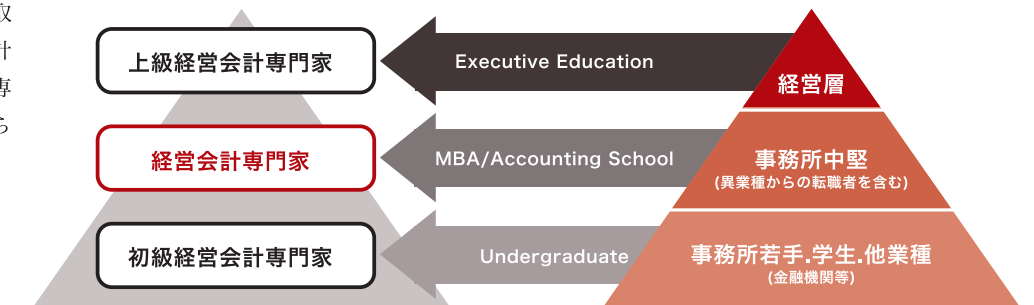


経営会計専門家

資格取得後のキャリアアップとして「経営会計専門家」を紹介！

所定の単位を修得して修了することで、税理士・公認会計士の資格取得および実務経験後、日本経営会計専門家協会が認定する「経営会計専門家」プログラムの受講資格が得られます。

〈「経営会計専門家」養成プログラムについて〉



本研究科で

- 管理会計系科目4単位以上
- ファイナンス系科目2単位以上
- 経営学系科目2単位以上を含む合計20単位以上取得

協会主催の
集合研修

会計士・税理士
等の資格取得

3年以上の
関連業務経験

プログラム修了認定証発行

「経営会計専門家」資格の付与

資格取得要件

修了生の声

熱意ある先生方による“考える授業”が魅力の一つ。
2年間の学びは着実に私を成長させてくれました。

ウィークエンドコースに入り、税理士法人事務所で働きながら通学していました。学修に関しては、同じ境遇・同じ目標の仲間と学び合える環境の良さを実感。また税理士試験勉強とは異なる、「考える」ことを重視した授業はとても刺激になりました。現在も同事務所に勤務し、税務書類の作成・税務相談・税務代理などの業務に携わっています。たとえば法人のお客様には月次訪問を実施し、帳簿チェックや取引行為の税務上の問題を確認するとともに多様な相談に対応しています。大学院での学びを通して税法が法律であることを強く意識するようになり、実務において、条文内容の確認が習慣化したことに自身の成長を感じています。さらに、学んだ管理会計などの知識もお客様の経営相談の際に役立っています。これからもお客様の悩みや相談事に対して的確なアドバイスで解決を図り、多くの方に信頼される税理士を目指します。



2025年3月修了

利光 直也さん

同じ目標を持つ仲間との出会いが合格の要因に。
今、幅広い学びをコンサルティング業務に活かしています。

学部生時代に税理士試験の勉強を開始しましたが、税法の科目が免除される大学院への進学が有利と考え、本学の会計専門職研究科で学ぶことを選択しました。同じ目標を持つ仲間に出会い、学修内容を言語化し議論するなかでアウトプットできたことが税理士試験3科目合格に繋がりました。現在は税理士法人の所属部署で、上場企業から個人までの幅広いクライアントに対する決算業務や経営支援を担当しています。会社としては「コンサルティング」に重点を置いており、税務相談に加えて経営支援やM&Aなどの多様なコンサルティング業務も行っています。これらには多角的な視点で物事を捉える力が求められるため、企業法や法解釈の学びが、相談事例を考える際の支えになっていることを強く実感しています。今後の目標は、信頼性の高い人材になること。そのためのスキルを磨きながら、さらに税理士としての価値を高めていきたいと考えています。



2025年3月修了

橋本 直樹さん

働きながら学ぶあなたへ

本学会計専門職研究科には、仕事をしながら学んでいる方が大勢います。
ウィークエンドコースや長期履修制度を用意し、働きながら学ぶ方々を積極的に支援します。

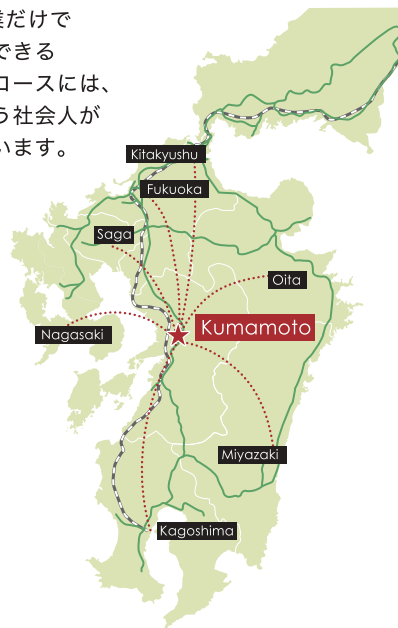
ウィークエンドコース weekend

金曜日夜間・土曜日・日曜日を使って2年間で修了！働きながら学べる教育環境

本学会計専門職研究科では、社会人の方が仕事と勉強を両立できる「ウィークエンドコース」を設けています。
金曜日の夜間・土曜日・日曜日という週末を使って授業を実施し、2年間で修了することのできるカリキュラムとなっています。

【九州各県から熊本へ】

週末3日間の授業だけで
修了することができる
ウィークエンドコースには、
九州各県から通う社会人が
数多く在籍しています。



【ウィークエンドコースの授業イメージ】

時 限	時 間	金	土	日
1時限	9:00～10:30	×	○	○
2時限	10:40～12:10	×	○	○
3時限	13:00～14:30	×	○	○
4時限	14:40～16:10	×	○	○
5時限	16:20～17:50	×	○	○
6時限	18:00～19:30	△	○	×
7時限	19:40～21:10	△	○	×

※金曜日6時限・7時限は論文指導が実施されます。
※補講等で日曜日の夜間に授業が行われる場合もあります。

【ウィークエンドコースの特徴】

- 原則として平日コースと同じ教員が担当します。
各コースで行われる授業に差はありません。
- ウィークエンドコースで行われる授業は、
必修科目が中心となっています。
すべての科目がウィークエンドコースで行われる訳ではありません
(一部の科目は平日コースでのみ実施しています)。

長期履修制度 long-term course

標準修業年限を1年間延長することでゆとりを持った履修計画が可能に！

長期履修制度とは、仕事を続けながら大学院に通う社会人などに配慮し、
標準修業年限内(本学会計専門職研究科の場合、2年間)での履修が困難な場合、修業年限を延長して履修できる制度です。



学費も3年間に分割することで、
経済的負担が軽減されます。

どんな人が対象？

長期履修を申し出ることができるのは、次の各号のいずれかに該当する方です。

- (1)職業等を有し、就業している者
- (2)家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- (3)その他当該研究科が相当な事情があると認めた者

修業年限・学費はどうなるの？

通常、本学会計専門職研究科の標準修業年限は2年ですが、長期履修の場合、修業年限が3年になります。学費は、2年間の学費を3年間に分割し、延長1年間分の施設費を加算した金額となります。

手続きは？

長期履修を希望する方は、事前に大学院事務室までお問い合わせください。
その後、入試出願書類提出時に以下の書類を同封していただきます。

- (1)長期履修申請書(本学所定用紙)
- (2)長期履修が必要であることを証明する書類(在職証明書等)

その他

- 長期履修生として履修する場合、教育訓練給付制度の申請はできません。
- 日本学生支援機構の奨学金については申し込みが可能です。
- その他、長期履修制度に関する詳細は大学院事務室までお問い合わせください。

在学生の声

大学院への入学を後押ししてくれた、メリットの多い制度です。

2人の息子の教育投資が無事に終わって自分自身の再教育の機会が到来したこと、さらに会社員時代と自営業(コンサルタント業)の約35年の就業経験の中で、改めて会計の知識が重要だと認識したことなどが、公認会計士の資格取得を目指して本学の会計専門職研究科に進学した理由です。地元熊本に、本研究科が存在していたことも後押しとなりました。自営業者であり、自宅通学なので時間的な余裕はありますが、仕事との両立を考えたときにこの長期履修制度がなければおそらく入学していなかったでしょう。

学びの環境は素晴らしく、図書館を利用したり、学割を使ったりといった多様なメリットも享受しています。また、ウィークエンドコースの大学院生は就業者がほとんどなので、仕事や出身地の話で会話が弾むこともあり、学びに重点を置きながらも日々を楽しく過ごしています。多様な経歴をお持ちの先生方の手厚い指導も魅力的で、会計分野に加えて実務にも活かせる多くの知識を吸収している実感があります。私にとって大学院への入学は、人生100年時代におけるチャレンジです。公認会計士の資格取得後はこの先の約40年間、大手企業への会計監査やコンサルタント業務に携わっていきたいと思っています。



2年生
(ウィークエンドコース・長期履修生)
井上 照教さん

施設・設備概要 facilities

■自習室・パソコン室(院生専用)

本学会計専門職研究科では、院生の学修を支援する様々な施設・設備を用意しています。

自習室は、専用の机・書架・ロッカーが備えられており、集中して勉強に取り組むことができるよう、個人ごとにスペースが区切られています。また、ネットワークや電源も完備しており、ノートパソコン等を持ち込んだ学修も快適に行うことができます。

自習室に近接する形で院生専用のパソコン室等を配置しており、論文作成や資料収集を効率的に行うことができます。また、休憩時間や仲間との語らいの場として、院生専用のラウンジもあり、高度会計専門職業人を養成するための充実した学修環境を提供します。



■図書館

地上4階地下2階の図書館はキャンパスのほぼ中央に位置し、学習図書館、研究図書館、保存図書館としての機能を持ち、開架図書20万冊、965席の閲覧室のある静かな環境の中、毎日多くの学生、卒業生や一般市民が訪れています。現在、蔵書約93万冊、学術雑誌約8,200タイトル、視聴覚資料約18,000点などを所蔵し、西日本有数の規模と内容を誇っています。

開学以来、学部や学科、大学院の増設に合わせて専門資料や図書館機能の充実に努めてきました。これまで蓄積されてきた資料や情報の提供はもとより、最新の学術情報を迅速・的確に提供できるレファレンス体制も整えています。

より多くの利用者にこれらの資料や機能を活用してもらうために、年間約270日開館しており、授業期間だけでなく長期休業期間も存分に利用することができます。



【開館時間】

授業期間		休業期間	
月～金	土	月～金	土
8:50～22:00	8:50～20:45	8:50～21:00	—

※授業期間の地階書庫の利用は21:30まで。

【休館日】

- 国民の祝日
- 年末・年始
- 創立記念日(5月30日)
- 入学試験日
- 夏期一斉休業日(8月13日～8月17日)

※その他、臨時の休館・開館時間の変更は、ホームページでお知らせします。

座談会

1年生と2年生、さらに宮崎教授に集まっていただき、
会計専門職研究科での勉強のリアルについて語り合ってもらいました。



効率的な学修のために 図書館や自習室などの活用を。

宮崎教授(以下・宮崎)／まず2年生の3人に伺います。1年間学んできた大学院の印象、また学修の手応えはいかがでしょうか？

井上照教さん(以下・井上照)／私はウィークエンドコースに入り、長期履修制度を利用しています。土・日曜日はほぼフルに授業に出席しましたが、我ながらよく頑張ったと思います。大学院には多様な分野の先生がいらっしゃるの、幅広い知識が身についたことも実感しています。また、3年間の学修期間なので少しゆとりがあると思っていましたが、周囲の方の顔つきがとても真

剣なので、悠長に構えることなく今後も意欲的に学んでいくつもりです。

井上聖紳さん(以下・井上聖)／私は他大学の会計コースを経て入学したのですが、大学院の先生方のレベルの高さを感じています。1年生のときの講義は毎回ついていくのがやっとだったので、2年生ではしっかり知識を吸収しようと思っています。この大学院は税理士志望の方が多く、同じ税理士を目指す仲間が周囲にいるという環境は、私自身の励みになっています。

八尋さん(以下・八尋)／私も同じように講義のレベルの高さを感じています。それだけに勉強すればするほど有用な知識が増え、将来の仕事に役立つスキルを着実

に身につけている感覚があります。

宮崎／せっかく大学院へ入ったのですから、主体的に学修することが大事です。1年生は、入学後の印象はどうでしょうか？

高井さん(以下・高井)／ハードなことは分かっていましたが、1年目からやはり講義内容が濃いですね。イメージよりボリュームも大きく、内容も難しいと感じています。ですが入学して約1ヶ月が経ち、ようやく雰囲気にも慣れ、学修ペースが掴めてきました。

沼田さん(以下・沼田)／私は、熊本学園大学商学科の会計専門職コース出身です。学部生時代は、3年生でほぼ単位を取得したこともあり、4年生では余裕のあるなかで税理士の勉強にも取り組みました。ですが大

学院生となった今は毎日がとても忙しく、学部生時代とのギャップを痛感しています。今後、学修のペースを整えていかなければと思っています。

岡崎さん(以下・岡崎)／私は、税理士試験の一部免除を目的に入学しましたが、現在の仕事である監査分野と結びつく知識を吸収している手応えがあります。将来的に手がけたいコンサルタント業務に役立つ、「考える力」も向上しているように思います。

宮崎／勉強法など、2年生から何か1年生にアドバイスすることはありますか？

八尋／お勧めしたいのが、図書館の活用です。本当に素晴らしい図書館で、税法関連の書籍も充実しています。司書の方もとても優しくて、図書館に行くたびに「お帰りなさい」と言葉をかけられます。和やかな雰囲気です。居心地もいいし、関心のある本を読むこともできるので気分転換にもなるはずです。

宮崎／九州の大学でも有数の図書館ですからね。私もお勧めします。

井上聖／自習室も利用してください。また私の体験から、同じ科目を勉強している友達を作って、問題を出し合うなどすれば効果も上がるはずです。それから、2年生は論文作成に追われるので、1年生のときに科目の学修にできるだけ集中して取り組んでみてはどうでしょうか。

井上照／私自身のモチベーションになっているのは、他の大学院生とのコミュニケーションです。院生は九州各地から入学していますし、年代も様々。学修面も含めて、いろんな方々と会話を交わすことで良い刺激をもらい、学修意欲が高められます。

同じ目標を持った仲間と 切磋琢磨できる環境が魅力。

宮崎／2年生は、改めて大学院で学ぶ意義をどのように感じていますか？

井上照／コンサルタント業を営んでいるため、会計や法律分野を学ぶ必要性がありましたが、大学院に入らなければしっかりした学修機会は得られなかったと思います。最終的な目標は公認会計士資格の取得とは



いえ、そのプロセスで会計分野をより深く学んでいくことが大事だと思っています。

井上聖／学部生時代から公認会計士の勉強をしていたのですが、試験勉強だけに取り組んで資格を取るより、大学院で学修しながら資格取得を目指す方が、深い知識を吸収できるメリットがあると思います。たとえば、「この計算法はこういう意味があるのか」という論理的な理由づけも理解できるし、大学院に入ったほうが、より優れた専門家になれる可能性が大きいはずです。

八尋／最初は、税理士試験の科目免除が頭にありました。ですが、実際に大学院へ入ってみると学修・研究の大変さを感じると同時に、学ぶ楽しさも高まってきました。同学年の人たちの勉強姿勢を見て、自分はまだまだだと奮い立たされることも多いです。親身な先輩や先生方から叱咤激励されつつ、今学修を進めているところで、大学院に來なければ、こんな経験はできなかったと思っています。

宮崎／1年生は今後の計画、注力点などありますか？

沼田／私は、なるべく早く税理士になって働きたいという思いがあるので、1年生の

うちに簿記論、財務諸表論に合格し、来年は論文作成に集中したいと考えています。ですから、1年生のうちから学修に集中する習慣をつけたいと思っています。

高井／2年生の論文作成が大変なことはわかっていて、1年生のときになるだけたくさんの知識を吸収したいですね。その得た知識が、必ず論文作成にも役立つはずです。それに法学部出身なので、学部生時代の論文作成の経験も活かせばいいなと思っています。もちろん、学修習慣をつけることにも注力したいです。大学を卒業して10年のブランクがありますし、子どもも小さく、仕事もあるので、この2年間の中で、学修時間をより多く作る工夫をしたいと考えています。

岡崎／すでに簿記論と財務諸表論には合格しているので、2年生では消費税法の合格を目指します。論文は、法人税法か所得税法をテーマに作成するつもりです。働きながらなので大変だとは思いますが、得られるものも大きいので頑張りたいと思います。

宮崎／私もこのアカウンティングスクールの1期生なのですが、やはり同じ目標を持つ仲間がいる環境が、良い影響を与えてくれると思います。2年生は今後、論文作成に加え資格試験も控えています。どこに力を入れるのかバランスを考えながら、計画的に学修を進めてほしいですね。1年生は先輩方にも頼りながら、友人と切磋琢磨して学修に取り組んでください。春学期を超えたら、少し余裕が出てくると思うので、そのタイミングで論文のことも考えたらいいかなと思います。皆さん、各々の目標を目指して頑張ってください。



〈左から〉1年生：沼田 栞さん、宮崎 裕士教授(租税法)、1年生：高井 彩花さん、
2年生(ウィークエンドコース・長期履修生)：井上 照教さん、2年生：井上 聖紳さん、2年生：八尋 俊法さん、1年生(ウィークエンドコース)：岡崎 双葉さん

■教育の基本目標

会計専門職業人としてコアとなる専門知識とスキルを修得し、かつ知識やスキルを適正に行使し得る論理的で職業倫理に基づく判断力を備えたうえで、企業並びに非営利組織、政府、自治体における会計業務や監査業務及び税務において指導的な役割を発揮できる人材を養成することを教育の基本目標としています。

■体系とプロセスを重視

体系とプロセスを重視した教育を確保するために、財務会計分野、管理会計分野、監査分野、企業法分野、租税法分野、経済・経営分野、統計・IT分野、実践分野に科目を分類し、各分野に基礎科目群、発展科目群、応用・実践科目群を設置しています。基礎科目群では、会計専門職業人に必要不可欠な基礎的知識を修得します。発展科目群では、理論学習を発展させて、より高度な知識を身につけていきます。応用・実践科目群では、最先端の会計理論を修得し、高度な会計専門知識を実務に応用する能力を養成します。

また、経済・経営分野及び統計・IT分野の科目については選択科目として配置し、自己の思考を論理的に説明する能力を育成するためのワークショップ形式の科目を用意しています。

■演習及び論文指導

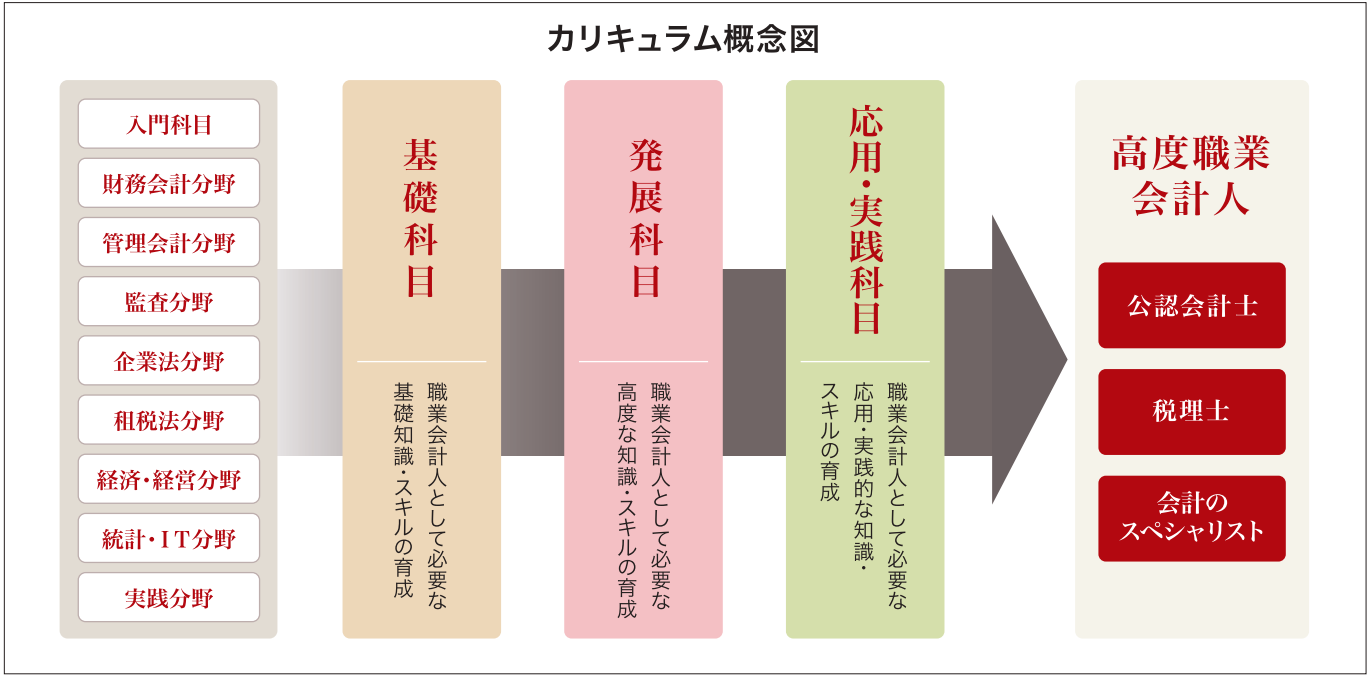
会計専門職業人として、リサーチ能力及び文章作法能力を高め、さらにディベート、プレゼンテーション、コミュニケーションの各スキルを磨くために、少人数制の演習及び論文指導を設けています。

【① 演 習】 会計専門家の教育とともに公認会計士試験対応の教育も含まれます。講義で身につけた知識が定着したかどうかを確認し、それを論理的な文章に書くトレーニングは必須となります。また、課題に対する質問を受けたり、解答例に対する解説を行うことによって、問題点や疑問点を院生自らが解決するための支援を行います。

【②論文指導】 選択によって、2年間の研究成果のひとつとして当該院生が関心を持つ争点(課題)に関する論文の作成を、中間報告を経て論文完成まで個別に指導します。

■修了要件 (2026年度(予定))

- ① 修了に必要な単位数は50単位です。
- ② 修了に必要な単位数は、次の全ての条件を満たすように修得する必要があります。
- ・入門科目から必修2単位
- ・財務会計分野から必修4単位、選択必修2単位を含めて10単位以上 ・管理会計分野から必修4単位を含めて6単位以上
- ・監査分野から必修4単位を含めて6単位以上 ・企業法分野から必修4単位を含めて4単位以上 ・租税法分野から必修2単位を含めて6単位以上
- ・実践分野から選択必修4単位
- ③ 1年間に履修できる単位の上限は36単位です。
- ④ 「論文指導Ⅰ」「論文指導Ⅱ」を選択し、論文を提出する人は、論文の審査及び最終試験に合格しなければ修了することができません。
(「学位取得による税理士試験科目免除」申請には学位論文が必要です。)



【2026年度 開設科目一覧(予定)】

科目区分		授業科目	単位	開設年次	履修区分	修了要件	
入門科目		会計リテラシー	1	1・2年次	必修	必修2単位	必修20単位・選択必修6単位(計26単位)を含め50単位以上
		アカデミック・ライティング	1	1・2年次	必修		
		会計専門職基礎	2	1・2年次	選択		
財務会計分野	基礎科目	基本簿記	2	1・2年次	必修	必修4単位 選択必修科目 2単位を含め 10単位以上	
		上級簿記	2	1・2年次	選択		
		基本財務会計	2	1・2年次	必修		
		上級財務会計	2	1・2年次	選択		
	発展科目	国際財務報告基準	2	1・2年次	選択必修		
		国際会計	2	1・2年次	選択必修		
		非営利法人会計	2	1・2年次	選択		
		公会計	2	1・2年次	選択		
		中小会社会計	2	1・2年次	選択		
		会計基準	2	1・2年次	選択		
	連結会計	2	1・2年次	選択			
応用・実践科目	非営利・公会計実務指導	2	2年次	選択			
管理会計分野	基礎科目	基本原価計算	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 6単位以上	
		上級原価計算	2	1・2年次	選択		
		基本管理会計	2	1・2年次	必修		
		上級管理会計	2	1・2年次	選択		
	発展科目	応用管理会計	2	1・2年次	選択		
		財務分析	2	1・2年次	選択		
監査分野	基礎科目	会計監査	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 6単位以上	
		監査基準	2	1・2年次	選択		
		会計職業倫理	2	1・2年次	必修		
	発展科目	監査制度	2	1・2年次	選択		
		監査実務	2	1・2年次	選択		
		公監査	2	1・2年次	選択		
		内部統制・内部監査	2	1・2年次	選択		
企業法分野	基礎科目	企業法基礎	2	1・2年次	必修	必修4単位を含め 4単位以上	
		企業法応用	2	1・2年次	必修		
	発展科目	民法(入門)	2	1・2年次	選択		
		民法(発展)	2	1・2年次	選択		
	応用・実践科目	コーポレート・ガバナンス	2	2年次	選択		
租税法分野	基礎科目	租税法原理	2	1・2年次	必修	必修2単位を含め 6単位以上	
		法人税法Ⅰ	2	1・2年次	選択		
	発展科目	法人税法Ⅱ	2	1・2年次	選択		
		所得税法Ⅰ	2	1・2年次	選択		
		所得税法Ⅱ	2	1・2年次	選択		
		消費税法	2	1・2年次	選択		
		相続税法	2	1・2年次	選択		
		租税手続法・争訟法	2	1・2年次	選択		
	租税法事例研究	2	1・2年次	選択			
応用・実践科目	国際税務	2	2年次	選択			
経済・経営分野	基礎科目	ミクロ経済学	2	1・2年次	選択		
		マクロ経済学	2	1・2年次	選択		
	発展科目	経営管理	2	1・2年次	選択		
		コーポレート・ファイナンス	2	1・2年次	選択		
		ビジネスコミュニケーション	2	1・2年次	選択		
応用・実践科目	経営コンサルティング	2	2年次	選択			
統計・IT分野	基礎科目	ビジネス統計	2	1・2年次	選択		
	発展科目	ICTと会計・税務	2	1・2年次	選択		
	応用・実践科目	情報セキュリティ	2	2年次	選択		
実践分野	実践科目	財務会計演習Ⅰ	2	2年次	選択必修	選択必修4単位	
		財務会計演習Ⅱ	2	2年次	選択必修		
		管理会計演習Ⅰ	2	2年次	選択必修		
		管理会計演習Ⅱ	2	2年次	選択必修		
		監査演習Ⅰ	2	2年次	選択必修		
		監査演習Ⅱ	2	2年次	選択必修		
		租税法演習Ⅰ	2	2年次	選択必修		
		租税法演習Ⅱ	2	2年次	選択必修		
論文指導	応用・実践科目	論文指導Ⅰ	2	2年次	選択		
		論文指導Ⅱ	4	2年次	選択		



特集
2

VOICE

[在学生の声]

会計専門職業人という同じ目標に向かって
切磋琢磨している在学生たち。
会計専門職研究科での学びはどのようなものか、
在学生の声を聞いてみましょう。



1

幅広い学修内容に知的好奇心を刺激され 研究意欲がさらに高まっています。

父が税理士だったこともあり、自分もいつしか税理士になろうと思うようになりました。入学前に税理士試験3科目に合格していましたが、本学の会計専門職大学院だからこそ学べる多様な講義に魅了され進学を決めました。2年生になっても、幅広い知識を吸収するため興味のある科目を多数履修しています。現在は論文のテーマも模索中。毎日がとてもハードですが、頑張っている周囲の同期生や先輩たちの姿は努力を続けるためのモチベーションになっています。そんな私の学修拠点といえるのが図書館です。居心地も良く、蔵書も豊富で、今では充実した学びに欠かせない存在です。この大学院で、知的好奇心を強く刺激されたことから、税理士資格を取得した後も、もっと学修・研究を継続したいという意欲が高まっています。



2年生
八尋 俊法さん



1年生
高井 彩花さん

4

目標とする税理士へ成長するために 必要科目を計画的に履修していきたい。

新卒で税理士法人に入社したことが、税理士への道を歩む端緒になりました。その後の出産・育児を経て、子どもが少し大きくなったタイミングで税理士を目指そうと決意し、本学の会計専門職研究科へ進学しました。私が目標としているのは、経営コンサルティングや財務分析といった会計目線の意見を発信できる専門家です。この大学院を選出したのも、税法に加え経営分析に関連する会計科目が充実していること、また実務経験豊富な先生のもとで学術的なことから実務に即した内容まで幅広く学べることが理由です。実際の授業でも、先生が何気なく口にされる話のスケールの大きさに驚かされるのがたびたびあります。今後も興味を持って主体的に学修することを心がけ、家庭との両立を図りながら必要科目を計画的に履修していきたいと思っています。

5

監査実務に結びつく知識も吸収。 今、大学院での学びを楽しんでいます。

コロナ禍の頃、自宅で簿記の勉強を始めたことが税理士を志望するきっかけになりました。銀行員として働きながら簿記3級、2級と資格を取得しましたが、その知識を仕事に生かそうと監査法人へ再就職。その後に簿記1級を取得したことから、税理士を目指すことにしました。本学の会計専門職研究科を選んだのは、理論と実務を学べる環境が整っており、コミュニケーション力や論理的思考力を身につけられるからです。イメージ通り、学びの手応えは十分。授業で監査の全体像を学ぶにつれ、「監査の本質」を理解しつつ今の仕事ができるようになり、大学院で学ぶことが楽しくなってきました。資格取得後は、勤務税理士として税務経験を積みながら、クライアントの課題解決に向けたコンサルティング業務にも積極的に携わっていく考えです。



1年生(ウィークエンドコース)
岡崎 双葉さん

2

著名な先生方のレベルの高い講義で、 試験勉強では得られない知識を修得。

他大学で会計を専攻しており、在学中に公認会計士の短答式試験にも合格していました。しかし論文式試験での結果が伴わず、中国、四国、九州で唯一の会計専門職大学院であり、税理士志望の学生を多く受け入れている本学で、父と同じ税理士を目指すことにしました。著名な先生方によるレベルの高い講義によって、単なる試験勉強では得られない広い知識を身につけることができるので、大学院入学を選択して良かったと思っています。2年生は講義や試験勉強、論文作成など忙しい日々を過ごすことになりますが、それらを共有しながら切磋琢磨できる多くの仲間がいることもこの大学院の魅力でしょう。1年生で税理士試験の会計2科目に合格しているので、これから税法2科目の合格を目指しながら、役員給与に関する論文を執筆する予定です。



2年生
井上 聖紳さん

教員紹介 teacher introduction



成宮 哲也 教授(研究科長)
Tetsuya Narumiya

租税法分野

西南学院大学大学院経営学研究科修了
修士(経営学)



飯村 光敏 准教授
Mitsutoshi Iimura

管理会計分野・実践分野

横浜市立大学商学部 学士(会计学)
公認会計士・税理士



大園 隆志 准教授
Takashi Ozono

財務会計分野・監査分野・実践分野

熊本大学大学院自然科学研究科博士前期課程修了
公認会計士



大塚 成男 教授
Shigeo Ohtsuka

財務会計分野

一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学
修士(商学)、政府会計学会副会長
財務省・財政制度等審議会 臨時委員
(公財)全国市町村研修財団 評議員
証券アナリスト 試験委員、元公認会計士試験委員



岡村 忠生 教授
Tadao Okamura

租税法分野

京都大学大学院法学研究科博士後期課程研究指導認定退学
京都大学名誉教授



改田 和歌子 准教授
Wakako Kaida

租税法分野・実践分野

熊本学園大学大学院会計専門職研究科修了
会計修士(専門職)、税理士



佐藤 信彦 教授
Nobuhiko Sato

財務会計分野・監査分野

明治大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学
修士(商学)、日本簿記学会顧問・元会長
日本会計教育学会副会長、税務会計研究学会副会長
日本学術会議連携会員、経営関連学会協議会副理事長
元公認会計士試験委員、元税理士試験委員



新改 敬英 教授
Takahide Shinkai

管理会計分野

九州大学大学院経済学府博士後期課程単位取得退学、博士(経済学)
米国公認会計士(ワシントン州)、米国公認管理会計士
株式会社ビューティカダンホールディングス取締役(非常勤)
肥後キャピタル株式会社第2号ベンチャーファンド投資諮問委員
Institute of Management Accountants日本支部理事



宮崎 裕士 教授
Yuji Miyazaki

租税法分野

熊本学園大学大学院商学研究科博士後期課程修了
博士(商学)



山本 健人 准教授
Kento Yamamoto

監査分野

神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
博士(経営学)



吉野 任 准教授
Makoto Yoshino

財務会計分野・監査分野・実践分野

同志社大学経済学部 学士(経済学)
公認会計士・税理士



林 幸一 特任教授
Koichi Hayashi

租税法分野

大阪府立大学大学院経済学研究科博士課程修了
博士(経済学・大阪府立大学)

アドバイザー・ボード

2019年度より、産業界等との連携により、教育課程を編成し、円滑かつ効果的に実施するため、アドバイザー・ボードを設けています。
会計実務または教育に造詣が深い学外有識者との連携で、カリキュラムの充実を目指します。

窪田 真	有限責任監査法人トーマツ 熊本連絡事務所長
倉崎 好太郎	RITAグループホールディングス株式会社 代表取締役社長
千代田 邦夫	元公認会計士・監査審査会会長 元本学会計専門職研究科教授

稲岡 政弘	南九州税理士会会長
山浦 久司	明治大学名誉教授 元会計検査院長

(五十音順)

〈本学のアドバイザー・ボード委員は以下のとおり〉
成宮哲也(研究科長)、大塚成男

◆ ゲスト講義・講演会

ゲスト講義や講演会では、毎年著名な先生方を多数お招きしております。在学中だけではなく、一部の講演会には修了生も参加することができます。

小野 正芳 氏	日本大学商学部教授
澤邊 紀生 氏	京都大学経営管理大学院長・経済学研究科教授
首藤 昭信 氏	東京大学大学院経済学研究科教授
鈴木 一水 氏	西南学院大学商学部教授
高田 知実 氏	神戸大学大学院経営学研究科教授
高橋 祐介 氏	名古屋大学大学院法学研究科教授

徳賀 芳弘 氏	京都大学名誉教授、企業会計審議会会長 前日本会計研究学会会長
中野 誠 氏	一橋大学大学院経営管理研究科教授
藤間 大順 氏	神奈川大学法学部准教授
森田 祐司 氏	元会計検査院長
八ッ尾 順一 氏	大阪学院大学法学部教授 税理士・公認会計士
渡辺 徹也 氏	早稲田大学法文学術院教授

(五十音順)

修学概要 study

◆ 授業時間

授業については、月曜日から金曜日までの平日コースと金曜日夜間・土曜日・日曜日を中心としたウィークエンドコース、長期休暇を利用する集中講義等の授業があります。授業時間帯は右記の表のとおりです。各自の履修スタイルにあわせて時間割を編成することができます。

1時限	9:00～10:30	5時限	16:20～17:50
2時限	10:40～12:10	6時限	18:00～19:30
3時限	13:00～14:30	7時限	19:40～21:10
4時限	14:40～16:10		

◆ 年間スケジュール(予定)

4月	7月	10月	1月
- 入学式 - 新入生歓迎講演会 - 春学期授業開始	7月入試 - 夏期休業 - 集中講義 - 学位論文提出(9月修了) - 学位論文審査(9月修了)	入試説明会	- 秋学期定期試験 - 学位論文提出(3月修了) 1月入試 - 春期休業 - 学位論文審査(3月修了)
5月	8月	11月	2月
- 論文テーマ発表会(税法分野) - 創立記念日	- 税理士試験 - 公認会計士試験(論文式) - 定期試験	- 論文予備審査会 11月入試	2月入試
6月	9月	12月	3月
入試説明会	- 中間発表会(税法分野) - 学位記授与式(9月期) - 秋学期授業開始	- 論文指導ガイダンス - 入試説明会 - 冬期休業	- 学位記授与式(3月修了) - 新入生・在学生登校日

兼任教員

井上 弘樹
兼任教授

熊谷 啓希
兼任准教授

日野 修造
兼任教授

非常勤講師

天川 竜治
宇城市副市長

宇津宮 しほり
公認情報システム監査人

落合 幸隆
公認会計士

城戸 善和
元本学教授

倉田 幸路
立教大学名誉教授

笹山 茂
本学名誉教授

佐藤 敏郎
公認会計士
日本公認会計士協会常務理事

澤田 成章
東海大学熊本キャンパス
文理融合学部准教授

杉本 徳栄
関西学院大学
経営戦略研究科教授

角田 幸太郎
佐賀大学
経済学部教授

飛田 努
福岡大学
商学部准教授

橋本 研
博士(商学・熊本学園大学)
税理士法人近代経営、税理士

林 隆敏
関西学院大学
商学部教授

吉川 晃史
関西学院大学
商学部教授

米本 昌弘
有限責任監査法人
トーマツパートナー

(五十音順)

日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の奨学金は非常に多くの学生が利用しており、最もポピュラーな奨学金です。経済的理由により修学に困難がある優れた学生を対象に奨学金を貸与するもので、返還の義務があります。申請時には学力や所得に関する審査があります。

対 象	種 別	金 額	資格・条件	募集期間等
修士・専門職学位課程	貸 与	第一種(無利子) 月額 5万円又は8.8万円 第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円	研究を継続するのに奨学金の貸与が必要な者	4月
		第一種(無利子) 月額 8万円又は12.2万円 第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円		
博士後期課程	貸 与	第一種(無利子) 月額 8万円又は12.2万円 第二種(有利子) 月額 5万円、8万円、10万円、13万円、15万円		

※金額は2025年度のものです。

大学院において第一種奨学金の貸与を受けた院生で、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に奨学金の全部または一部の返還が免除される制度(特に優れた業績による返還免除制度)があります。

会計専門職研究科 特別奨学金

本学大学院会計専門職研究科に在学する院生の学修及び研究活動を奨励することを目的とした奨学金制度です。

対 象	種 別	金 額	人 数	資 格・条 件
本研究科 在学生	給 付	30万円	若干名	学業、人物ともに優秀であると認められた者

※2024年度は、各学年5名、計10名に交付しました。



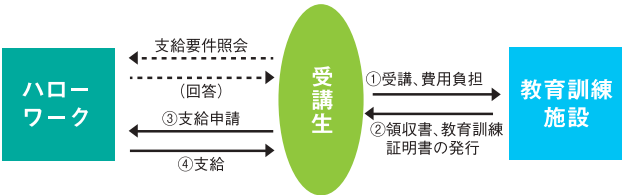
その他の奨学制度

上記以外にも、本学独自の奨学制度や、都道府県が実施しているもの、財団法人等が実施しているものなど、多くの奨学制度があります。また、学術団体等が実施する支援や懸賞論文もあります。これらの情報は、在学生に対して適宜提供しています。

教育訓練給付制度

「教育訓練給付制度」は、働く方の能力開発、キャリアアップを支援するため、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し、一定の要件を満たした方に対して、受講費用の一部を給付する制度です。本学の修士課程・専門職学位課程は、厚生労働大臣から「一般教育訓練給付の対象講座」として指定を受けています。一定の条件を満たして修了した方は、教育訓練給付金(上限10万円)を受給できます。

- 支給額
- 受講者本人が支払った受講費用の20%(上限10万円)
- 支給要件
- 初めて利用する方
雇用保険加入期間が通算1年以上
 - 以前利用したことがある方
前回利用開始日から雇用保険加入期間が通算3年以上



※長期履修生は、教育訓練給付制度の申請ができません。

納入金 (参考:2025年度)

[専門職学位課程] (単位:円)

種 別		一般納入金				委託徴収金	合 計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
学年・期別		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		595,000	55,000	650,000		650,000	
	2期		595,000	55,000	650,000	20,000	670,000	9月28日
	合計	100,000	1,190,000	110,000	1,400,000	20,000	1,420,000	

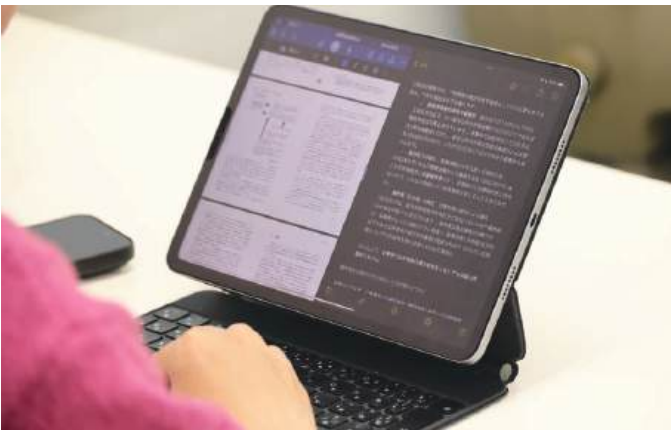
※この表は2025年度に限り有効

[専門職学位課程長期履修生] (単位:円)

種 別		一般納入金				委託徴収金	合 計	納入期限
		入学金	授業料	施設費	計	同窓会費		
学年・期別		100,000			100,000		100,000	入学手続 指定日時
	1期		398,000	55,000	453,000		453,000	
	2期		398,000	55,000	453,000	20,000	473,000	9月28日
	合計	100,000	796,000	110,000	1,006,000	20,000	1,026,000	

※この表は2025年度に限り有効

※ 2026年度入学者の納入金額は変更となる場合があります。
※ 入学金及び同窓会費については、本学学部卒業生・本学大学院修了者は免除します。
※ 納入期限日が休日あるいは土曜日の場合は、その翌日または翌々日とします。



ホームページ home page

本学大学院ホームページでは、会計専門職研究科に関する多くの情報を掲載しています。
より詳しい内容について知りたい方は、ぜひ以下二次元バーコードからアクセスしてみてください。

熊本学園大学大学院ホームページ
KGU Graduate School



会計専門職研究科ランディングページ
Landing Page



会計専門職研究科3つのポリシー
Diploma/Curriculum/Admission Policy



学生生活サポート・福利厚生
Support and Welfare



熊本学園大学 研究者総覧
Find Researchers



会計専門職研究科シラバス
Syllabus



キャンパスマップ campus map

- | | | | |
|------------------|------------|------------|------------------|
| ① 正門・銀杏並木 | ⑧ 本館 | ⑮ 8号館(部室棟) | ⑳ ピアノ練習棟 |
| ② 産業資料館 | ⑨ 総合体育館 | ⑯ 第二体育館 | ㉑ テニスコート |
| ③ 14号館(60周年記念会館) | ⑩ 研究棟 | ⑰ 図書館 | ㉒ 大江第一寮・第二寮(女子寮) |
| ④ 付属敬愛幼稚園 | ⑪ 人工芝グラウンド | ⑱ 大江グラウンド | ㉓ 保田窪寮(男子寮) |
| ⑤ 多目的グラウンド | ⑫ 4号館 | ⑲ 12号館 | ㉔ 国際交流会館 |
| ⑥ 附属高等学校 | ⑬ 7号館 | ⑳ 11号館 | |
| ⑦ 附属中学校 | ⑭ 学生会館 | ㉑ 新1号館 みらい | |



アクセスマップ access map



交通アクセス traffic access

▶ 熊本桜町バスターミナルより

- 【車利用】約15分
 【熊本都市バス利用】⑮のりば 約20分
 ◎子飼渡瀬線(こかいわたるぜん) …バス停「学園大前」下車すぐ
 ◎大江城西線(おおえじょうせいせん) …バス停「学園大前」下車すぐ
 ◎渡鹿長嶺線(とろくながみねせん) …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 ◎東西線(とうざいせん) …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 【産交バス利用】⑮のりば 約20分
 ◎熊本整形外科・託麻原本通経由 …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 ◎子飼橋・託麻原本通経由 …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分

▶ 九州新幹線・JR鹿児島本線 熊本駅より

- 【車利用】約15分
 【熊本都市バス利用】⑮のりば 白川口(東口) 約20分
 ◎熊学ライナー熊本駅ー熊学ノンストップ …バス停「学園大(キャンパス内)」下車
 ◎第一環状線(大学病院回り) …バス停「大江渡鹿」下車 徒歩約5分
 ◎中央環状線(大学病院回り) …バス停「学園大前」下車すぐ

▶ JR豊肥本線 水前寺駅より

- 【徒歩】北口より約10分
 【熊本都市バス利用】北口より約3分
 ◎大江城西線 …バス停「学園大前」下車すぐ

▶ 熊本市電 電停「味噌天神前」より

- 【徒歩】約15分

▶ 九州自動車道 熊本インターより

- 【車利用】約15分

▶ 熊本空港より

- 【車利用】約30分
 【空港バス利用】約30分
 ◎バス停「味噌天神」下車 徒歩約15分

熊本駅直通のシャトルバス「熊学ライナー」

JR熊本駅～本学間をノンストップで結ぶシャトルバスを運行しています。(運賃片道140円)

▶ JR熊本駅発 …… ①8:20 ②9:15 ③10:05 ④12:25 ⑤14:05

▶ 熊本学園大学発 …… ①13:00 ②14:45 ③16:25 ④17:20 ⑤18:20

(土・日・祝は運休) ※最新の運行状況は大学ホームページをご覧ください。

※大学発は水道町
バス停(降車のみ)を経由します



令和7年度(2025年度)の情報です。